# 松原福祉館だより

**ー地域で互いに支えあい助け合うまちづくりをすすめるためにー**

第 58 号
令和 6年1月発行
鹿児島市松原福祉館
鹿児島市松原町２-２４
TEL・Fax　２２５－５３７４
管理運営 ： 指定管理者
鹿児島市社会福祉協議会

## 謹 賀 新 年

皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申しあげます。
旧年中は多くの皆様にご利用いただきまして、心から感謝申しあげます。今年もさらに多くの方々が、気軽に集える地域福祉活動の場として、皆さまに親しまれる福祉館になりますよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和六年　元旦　　松原福祉館職員一同

**令和5年12月2日（土） 松原福祉館イベント**

## 「鹿児島マジック愛好会 きくちゃん☆」によるマジックショー

鹿児島市に登録している「元気高齢者ボランティア」の「鹿児島マジック愛好会きくちゃん☆」によるマジックショーを開催しました。今回は永井さん、前平さん、片平さんの３名の方が出演され、道具を使ったオーソドックスな内容のものや、火を使ったり色やものが次々と変わるマジックが披露されました。また、腹話術を使って帽子にミッキーマウスの人形を潜ませて、何が中に入っているかを当てさせる芸も披露されました。当日は、お隣の松原保育園の園児の皆さんも参加されましたが、園児さんの興味を大いにそそり大変に盛り上がり、いち早くクリスマスのようなにぎわった気分を味わえました。一般の参加者の皆さんも、いつになく子どもの歓声が絶えない時間を一緒になって楽しむ機会となったようで、園児さんと一緒に楽しく過ごせてよかったといった感想が多かったです。鹿児島マジック愛好会の皆さん、ありがとうございました。

**令和5年9月22日（金）**

## 介護講習会（松原校区社会福祉協議会　主催）

講師の日本赤十字社鹿児島県支部の砂原　加津代氏から、「認知症」をテーマに講話をしていただきました。内容は、認知症の原因、症状の概要と主な症状として中核症状と行動・心理症状に分類されること、そして認知症の人へのガイドラインとして「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」という基本姿勢があり、具体的な対応のポイントがあること、最後に家族の理解と支援について、始めはとまどいや否定から、最終的には理解が深まり受容へ至る各ステップがあることについて、講師ご自身の経験も織り交ぜながら丁寧に説明していただきました。
高齢化社会の進展に伴い、今後も家族、地域社会で認知症への理解と環境整備を進めていくことが大事になることを理解できました。

## ボランティア出前講座　　令和5年9月22日（金）

介護講習会に引き続き、ボランティア出前講座を、鹿児島市社会福祉協議会ボランティアセンターの米倉主査を講師にお招きし開催しました。まず、ボランティア活動の意義及び活動前に知っておきたい『心得七項目』の説明があり、ボランティアの指針として重要なことがよくまとめられており、大変参考になるものでした。また、収集に関するボランティアの紹介があり、日常での習慣としてすぐに取り組めるものでした。近年、街中でよく見かけるようになった障害に関する各種のサインや、手話でのあいさつの紹介もあり、日常での気づきや心がけにつながる内容でした。参加者の皆さんもボランティアを身近なものとして再認識され、さらに関心が高まったようでした。